

## 特集

## 2025年暮らし向き調査結果

当研究所では、奈良県内の消費行動を探るため南都銀行 30 か店の来店客を対象に、「暮らし向きアンケート調査」を実施し、その結果を取りまとめました（世帯主を対象に毎年調査）。

今回の調査結果では、1 年前と比べた暮らし向きDIは前回に比べ低下し、悪化傾向がみられました。また、1 年前と比べた消費支出は「物価が高くなった」等の理由により増加しました。

今後 1 年間の暮らし向きについては、横ばいと見込む人が多く、現在の状況から変化がないと考える人が多い結果となりました。

## 《要 約》

## ①暮らし向き動向

現在の暮らし向きDI<sup>(※)</sup>は△38.3で、前回（2024 年）より 9.0 ポイント低下。

今後 1 年間の暮らし向きDIは、△38.4と現在より 0.1 ポイント低下でほぼ横ばい。

※DI（Diffusion Index）とは、アンケート結果の分散程度を指数化したもので、質問に対して「プラス（良い、増加等）」、「中立（変わらない）」、「マイナス（悪い、減少等）」の 3 つの選択肢を用意して、「プラス」と回答した割合から「マイナス」と回答した割合を差し引きした指数をいう。

## ②消費支出動向と増減理由等（複数回答）

現在の消費支出DIは 66.7 となり、前年比 3.6 ポイント上昇。

消費支出の増加理由は「物価が高くなった」が最多で、次いで「出費がかさなった」の順。支出が増加した項目は「飲食料品」が最多で、次いで「住居（家賃・光熱費等）」の順。

消費支出の減少理由は「物価が高くなった」が最多で、次いで「節約した」の順。支出が減少した項目は「飲食料品」が最多。

今後 1 年間の消費支出DIは△35.7と現在よりも 102.4 ポイント低下の見通し。消費支出を減らそうと思う理由は「年金や介護費用など老後の生活が不安」が最多で、次いで「医療費や税金など負担が増えた」の順。

## ③貯蓄目的（複数回答）

今後 1 年間の貯蓄DIは 18.3 で、前年比 0.6 ポイント低下。貯蓄目的は「老後の備え」が最多で、預け入れ商品では「普通預金・通常貯金」が最多。

## ④今後 1 年間に購入・支出予定の品目（複数回答）

購入・支出予定の品目は「国内旅行」が最多。前回よりも購入・支出予定が最も増えたのは「海外旅行」となった。

## ⑤サービス・レジャー等に関する支出（複数回答）

1 年前と比べたサービス・レジャー等に関する支出DIはすべての項目でマイナスとなっており、最も低いのが「二泊以上の旅行の費用（海外旅行含む）」。

今後 1 年間に支出を増やそうと考えているのは「日帰り旅行の費用」が最多で、次いで「外食費」の順。

## ⑥主食用米（コメ）について

普段食べるコメの購入先（複数回答）としては、「スーパー・ホームセンター・ディスカウントストア」（54.7%）が最多。今回のコメの価格高騰（以下、「令和のコメ騒動」）を受けた対策（複数回答）としては、「備蓄米を購入した」（21.4%）が最多となったが、「対策なし（行動・意識の変化なし）」が 45.3%で、半数近くの家帯では特段の対策を講じなかった。

令和のコメ騒動をきっかけに関心が高まった事項（複数回答）としては、「適正なコメ価格」（58.7%）が最多で、次いで「日本の農業政策」（43.7%）の順。

コメの適正価格は「2,000 円以上 3,000 円未満」（45.4%）が最多で、自由意見では「消費者としてはコメの価格は安い方が良いが、農家のことを考えると安ければ良いものではない」との趣旨の回答が多かった。

## 1. 暮らし向き動向

<現在（2025 年）>

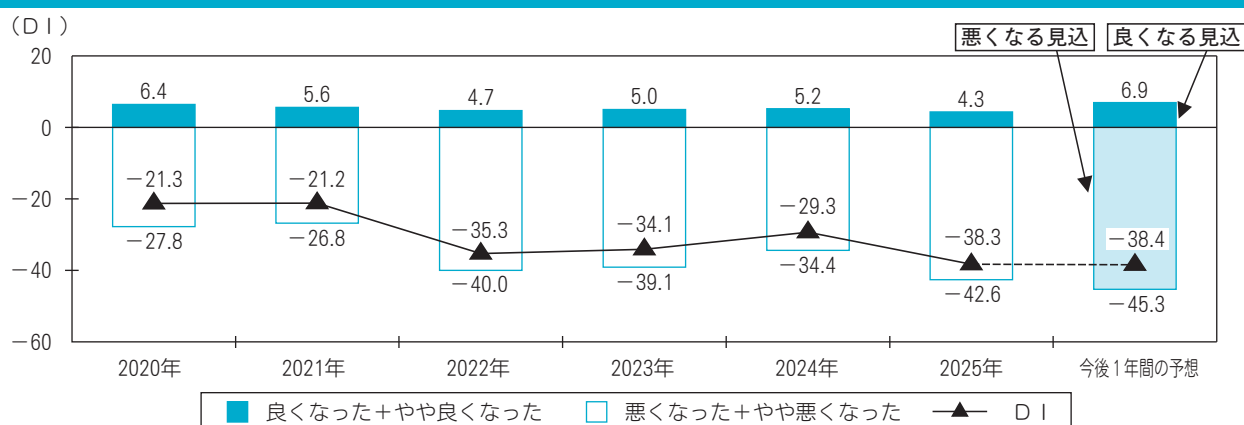
1 年前（2024 年）と比べた全体の暮らし向き動向をみると、暮らし向き DI は△38.3 となり、2024 年の前回調査（△29.3）よりも 9.0 ポイント低下した。

年代別でみると、前回調査に比べ暮らし向き

DI が上昇したのは 29 歳以下のみで、他の年代はすべて低下した。

物価高が幅広い世帯に影響を及ぼしており、就業者の賃上げを超える物価高が暮らし向き感を悪化させている。

暮らし向き DI（1 年前に比べ）（n=700）



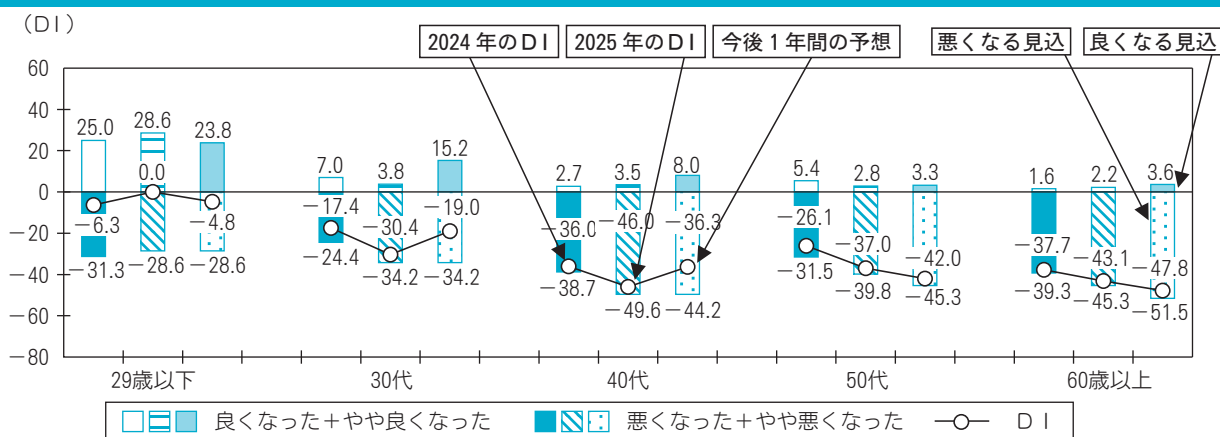
<今後1年間（2026 年）>

今後1年間の暮らし向き予想については、全体の暮らし向き DI が△38.4 と現在より 0.1 ポイント低下した。今後1年間の暮らし向き感はほぼ横ばいと予想している。

年代別にみると、変化幅が大きい順に 30 代、40 代で上昇がみられる一方、50 代、29 歳以下、

60 歳以上が低下した。就業者については、賃上げによる所得向上の期待がある一方、50 代以上の就業者や年金生活者は先行きの暮らし向きの悪化を見込むことに加え、50 代以上の就業者は他の年代ほど所得の向上が望めず、家計の厳しさを感じている人が多いとみられる。

年代別暮らし向き DI（n=700）



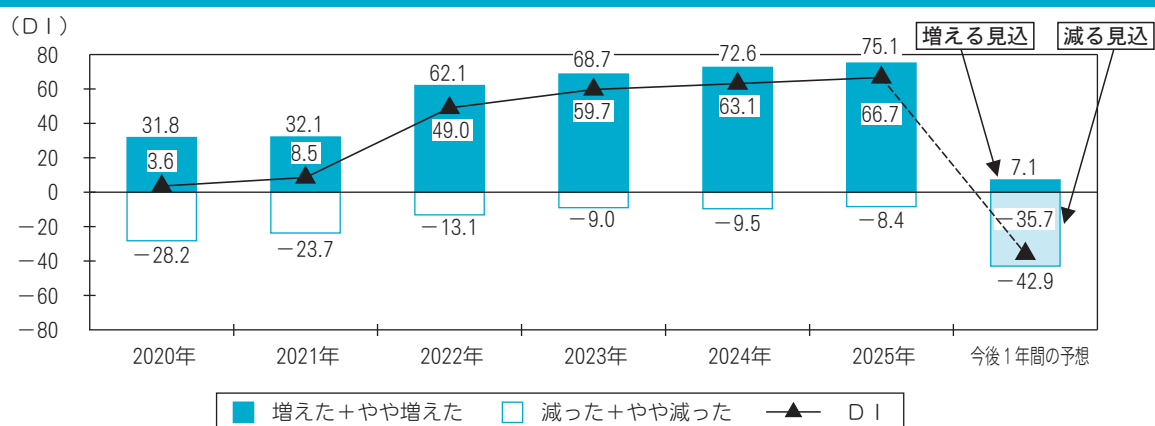
## 2. 消費支出動向

<現在（2025 年）>

1 年前（2024 年）と比べ消費支出が「増えた」「やや増えた」と答えた人の割合は 75.1%、「減った」「やや減った」人の割合は 8.4% となり、全体の消費支出 DI は 66.7 で、前回（63.1）より 3.6 ポイント上昇した。

物価高の影響で、消費支出は増加傾向が続いている。前回との変化を年代別にみると、50 代、30 代は消費支出の抑制傾向がみられるが、上昇幅が大きい順に 60 歳以上、29 歳以下、40 代は飲食料品や光熱費等の生活必需品の消費支出が増える傾向がみられる。

消費支出 DI（1 年前に比べ）（n=700）



<今後 1 年間（2026 年）>

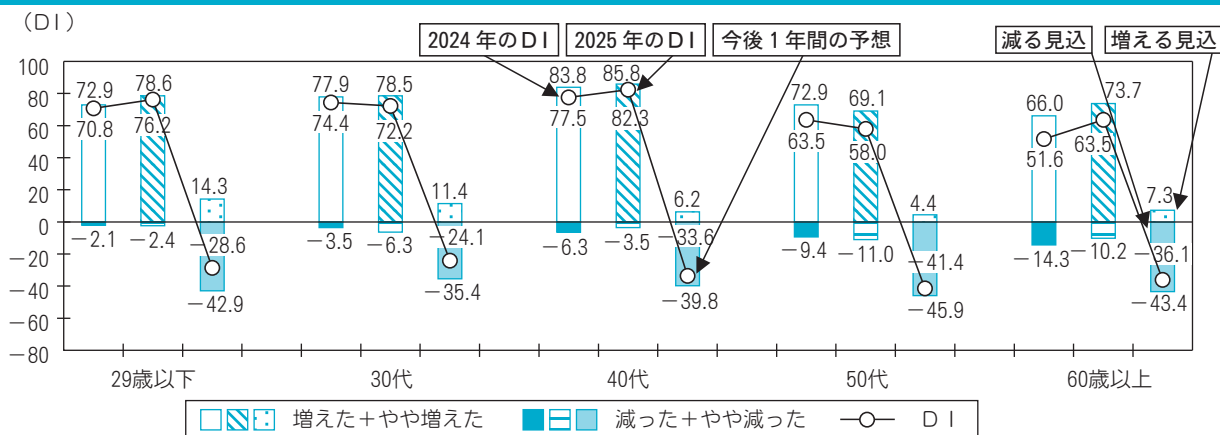
今後 1 年間の消費支出 DI の予想は△35.7 となり、現在よりも 102.4 ポイント低下する見通しとなった。今後の消費支出を、今よりも「減らす」「やや減らす」の割合は、42.9%と拡大した。

今後 1 年間の消費支出 DI は、すべての年代でマイナスとなっている。年代別では 50 代（△41.4）が最も低かった。

現在と今後 1 年間の DI 比較は、低下幅の大きい順に、40 代、29 歳以下、60 歳以上、50 代、30 代となった。

世代に関わらず、将来への不安に備えて、日常生活での支出に節約意識が高い状況があるとみられる。

年代別消費支出 DI（1 年前に比べ）（n=700）



### 3. 消費支出の増減理由等

#### (1) 消費支出の増加理由および増加項目

1年前（2024年）と比べ消費支出が「増えた」「やや増えた」と答えた526人を対象に、その理由をたずねた。回答は、「物価が高くなった」が83.1%で最も多く、次いで「出費がかさなった」（33.7%）であった（図表不掲載）。

支出が増加した項目（複数回答）は「飲食料品」（82.1%）が最も多く、続いて「住居（家賃・光熱費等）」（35.2%）、「保健医療」（11.6%）の順となった。1年前と比較すると、「住居」が5.1ポイント、「教養・娯楽」が4.3ポイント低下する一方で、「飲食料品」は4.0ポイント上昇するなど、生活必需品の支出増加が他の支出を抑制する傾向がみられた。

年代別に最も支出が増加した項目は、すべての年代で「飲食料品」であり、29歳以下（81.8%）、30代（77.4%）、40代（82.5%）、50代（79.2%）、60歳以上（85.6%）となった（図表不掲載）。

#### (2) 消費支出の減少理由および減少項目

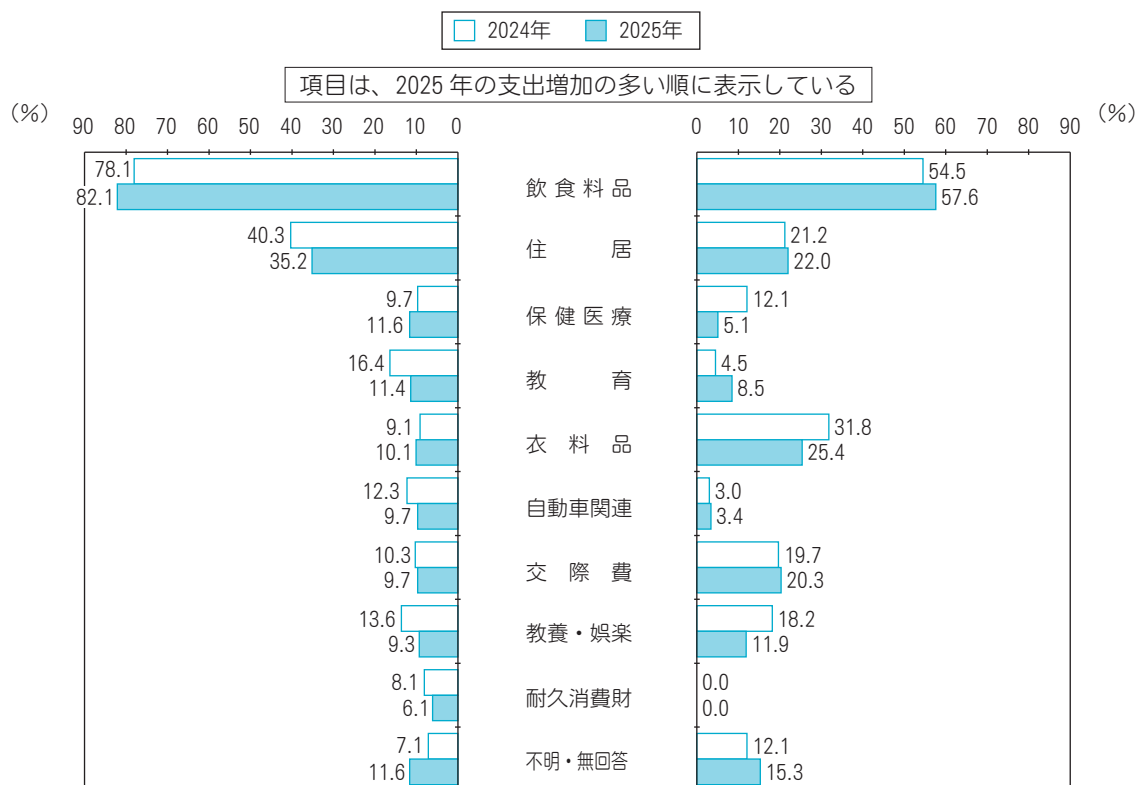
1年前（2024年）と比べ消費支出が「減った」「やや減った」と答えた59人を対象に、その理由をたずねた回答は、「物価が高くなった」が39.0%で最も多く、次いで「節約した」（32.2%）となった（図表不掲載）。

支出が減少した項目（複数回答）は「飲食料品」（57.6%）が最も多く、1年前と比較しても3.1ポイント上昇しており、物価高が進む中、生活必需品を切り詰める傾向がみられた。一方で「保健医療」が7.0ポイント、「衣料品」が6.4ポイント、「教養・娯楽」が6.3ポイント低下している。物価高の中でも趣味や余暇への消費支出についてはある程度許容する傾向がある。

年代別に最も支出が減少した項目は、「飲食料品」が50代で85.0%、60歳以上で42.9%と最も高く、50代では「住居」（30.0%）、60歳以上では「衣料品」（32.1%）が続く（図表不掲載。40代以下はサンプル数の関係で分析を行っていない）。

支出が増加した項目（複数回答）（n=526）

支出が減少した項目（複数回答）（n=59）



#### 4. 今後1年間に消費支出を減らそうと思う理由（複数回答）

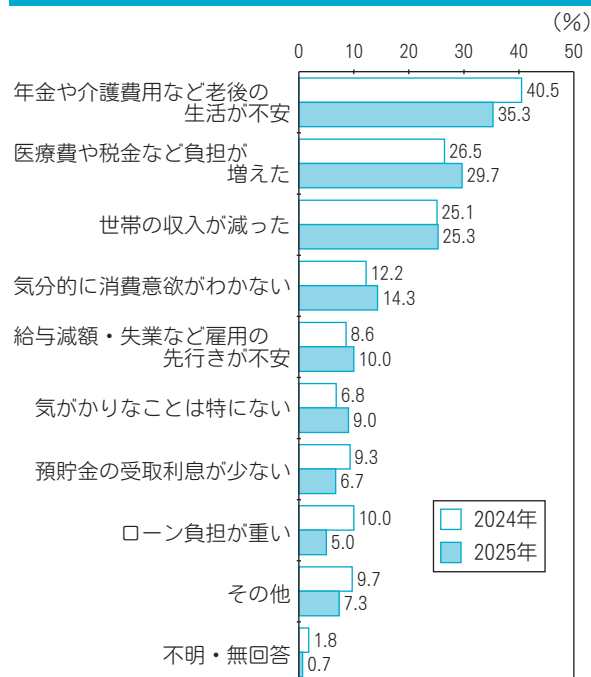
今後1年間の消費支出について「減らす」「やや減らす」と答えた300人を対象に、その理由をたずねた結果、最も多かったのが「年金や介護費用など老後の生活が不安」（35.3%）で、「医療費や税金など負担が増えた」（29.7%）、「世帯の収入が減った」（25.3%）が続いた。

前回も「減らす」理由のトップであった「年金や介護費用など老後の生活が不安」は今回5.2ポイント低下した。

年代別にみた「消費支出を減らそうと思う」理由で最も多い項目は、60歳以上で「年金や介護費用など老後の生活が不安」（49.6%）で、50代では同項目と「医療費や税金など負担が増えた」（いずれも30.1%）となり、老後生活への不安は年代の上昇と連動して割合が高くなる傾向がみられた。

29歳以下では、「気がかりなことは特にない」（38.9%）が最も多かったが、老後生活や医療費・年金などへの不安や負担感から消費支出を減らす動きもある。

#### 消費支出を減らそうと思う理由（複数回答）（n=300）



#### 年代別消費支出を減らそうと思う理由（複数回答）（n=300）

| 理由                 | 29歳以下         |               | 30代           |               | 40代           |               | 50代           |               | 60歳以上         |               |
|--------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
|                    | 今回<br>(2025年) | 前回<br>(2024年) | 今回<br>(2025年) | 前回<br>(2024年) | 今回<br>(2025年) | 前回<br>(2024年) | 今回<br>(2025年) | 前回<br>(2024年) | 今回<br>(2025年) | 前回<br>(2024年) |
| 年金や介護費用など老後の生活が不安  | 16.7          | 5.6           | 21.4          | 27.6          | 22.2          | 31.4          | 30.1          | 40.2          | 49.6          | 53.4          |
| 医療費や税金など負担が増えた     | 16.7          | 27.8          | 25.0          | 20.7          | 37.8          | 20.0          | 30.1          | 21.7          | 28.6          | 34.0          |
| 世帯の収入が減った          | 0.0           | 22.2          | 17.9          | 10.3          | 22.2          | 14.3          | 24.1          | 18.5          | 31.9          | 39.8          |
| 気分的に消費意欲がわからない     | 5.6           | 11.1          | 14.3          | 10.3          | 13.3          | 20.0          | 20.5          | 7.6           | 11.8          | 13.6          |
| 給与減額・失業など雇用の先行きが不安 | 0.0           | 0.0           | 14.3          | 10.3          | 15.6          | 0.0           | 14.5          | 12.0          | 5.9           | 9.7           |
| 気がかりなことは特にない       | 38.9          | 5.6           | 10.7          | 17.2          | 6.7           | 5.7           | 9.6           | 6.5           | 5.0           | 4.9           |
| 預貯金の受取利息が少ない       | 11.1          | 16.7          | 10.7          | 3.4           | 4.4           | 0.0           | 7.2           | 8.7           | 5.9           | 13.6          |
| ローン負担が重い           | 5.6           | 16.7          | 14.3          | 13.8          | 13.3          | 17.1          | 2.4           | 14.1          | 1.7           | 1.9           |
| その他                | 11.1          | 11.1          | 10.7          | 34.5          | 8.9           | 14.3          | 8.4           | 6.5           | 5.0           | 3.9           |
| 不明・無回答             | 0.0           | 0.0           | 0.0           | 0.0           | 2.2           | 2.9           | 1.2           | 2.2           | 0.0           | 1.9           |

（注）合計および各年代において、■ 1番多い理由、■ 2番目に多い理由、■ 3番目に多い理由。

## 5. 貯蓄目的（複数回答）

<全 体>

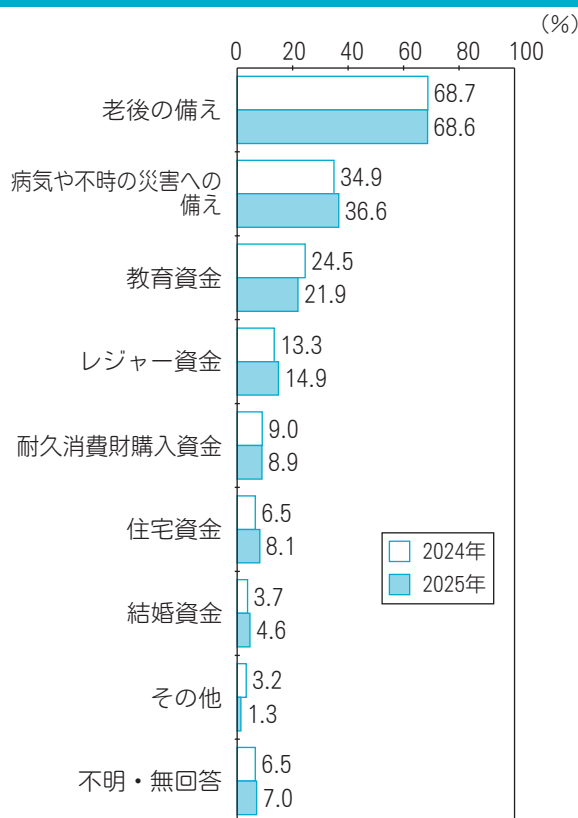
今後1年間の貯蓄は「増やす」「やや増やす」が前回よりも1.3ポイント低下（32.7%）、「減らす」「やや減らす」は0.7ポイント上昇（14.4%）、貯蓄DIは18.3で、前年比0.6ポイント低下した。

貯蓄の目的では、「老後の備え」（68.6%）が最も多く、続いて、「病気や不時の災害への備え」（36.6%）、「教育資金」（21.9%）の順となった。年代別にみると、29歳以下（38.1%）、40代（60.2%）、50代（77.3%）、60歳以上（78.1%）は「老後の備え」が、30代は「教育資金」（60.8%）との回答が最も多かった（図表不掲載）。

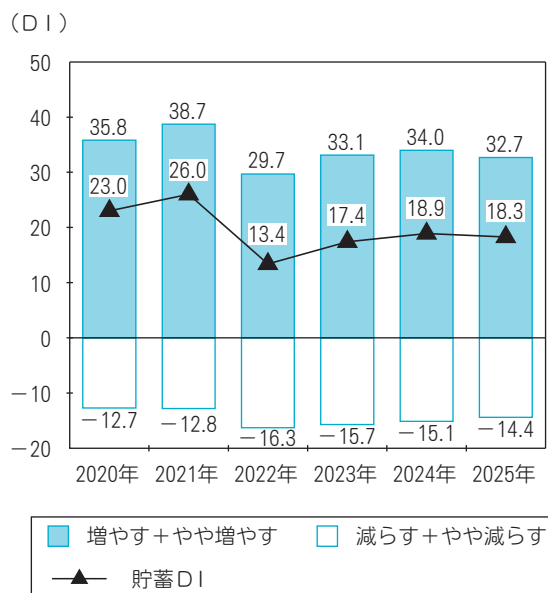
今後、貯蓄をする場合に考えている商品の内訳については、多い順に「普通預金・通常貯金」（50.6%）、「定期預金・定額貯金」（41.6%）、「投資信託」（32.9%）となった。

前回よりも預金・貯金は増加し、投資信託は減少した。

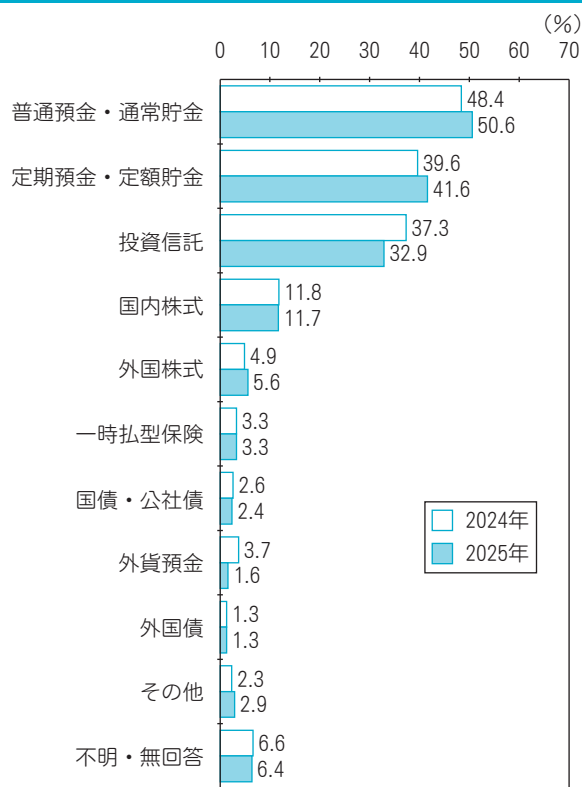
貯蓄の目的（複数回答）（n=700）



今後1年間の貯蓄DI（n=700）



今後貯蓄をする場合に考えている商品の内訳（複数回答）（n=700）





## 6. 今後1年間に購入・支出予定の品目（複数回答）

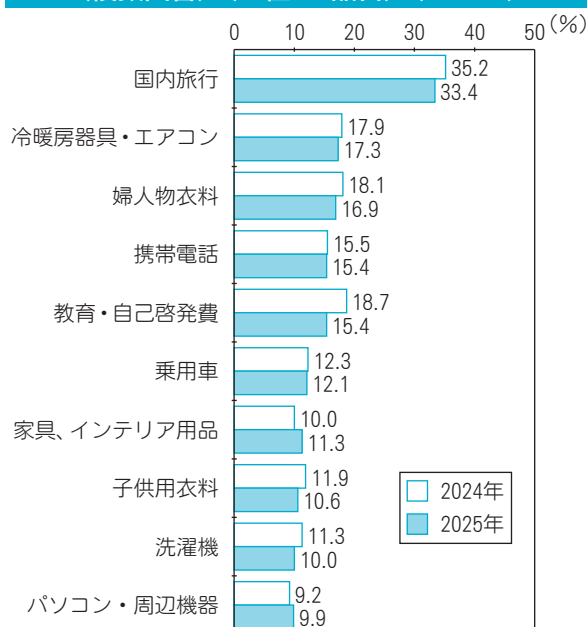
今後1年間に購入・支出予定の品目で最も多いのは「国内旅行」（33.4％）で、続いて「冷暖房器具・エアコン」（17.3％）、「婦人物衣料」（16.9％）となった。

前回よりも購入・支出予定が最も増えたのは「海外旅行」（前年比+1.6ポイント）で、続いて「太陽光発電・蓄電池」（同+1.1ポイント）であった。一部ではあるものの、海外旅行の需要が回復してきたことがうかがえる。

一方で、最も減少したのが「教育・自己啓発費」（同△3.3ポイント）で、続いて「国内旅行」（同△1.8ポイント）であった。

年代別に、購入・支出予定の最も多い品目をみるとすべての年代が「国内旅行」で、29歳以下（52.4％）、30代（45.6％）、40代（34.5％）、50代（27.6％）、60歳以上（31.4％）となった。

今後1年間に購入・支出予定の品目  
（複数回答）（上位10品目）（n=700）



今後1年間に購入・支出予定の品目（複数回答）（今回 n=700、前回 n=697）

| 購入予定の品目                              |                | 合 計  |      | 差 引<br>今回-前回 | 年 代 別         |               |               |               |               |               |               |               |               |               |
|--------------------------------------|----------------|------|------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
|                                      |                |      |      |              | 29 歳以下        |               | 30 代          |               | 40 代          |               | 50 代          |               | 60 歳以上        |               |
|                                      |                |      |      |              | 今回<br>(2025年) | 前回<br>(2024年) | 今回<br>(2025年) | 前回<br>(2024年) | 今回<br>(2025年) | 前回<br>(2024年) | 今回<br>(2025年) | 前回<br>(2024年) | 今回<br>(2025年) | 前回<br>(2024年) |
| 耐<br>久<br>消<br>費<br>財                | 冷暖房器具・エアコン     | 17.3 | 17.9 | －0.6         | 11.9          | 8.3           | 11.4          | 9.3           | 12.4          | 23.4          | 16.6          | 17.2          | 21.5          | 20.5          |
|                                      | 携 帯 電 話        | 15.4 | 15.5 | －0.1         | 7.1           | 18.8          | 11.4          | 11.6          | 23.0          | 21.6          | 19.9          | 16.7          | 12.0          | 12.7          |
|                                      | 乗 用 車          | 12.1 | 12.3 | －0.2         | 19.0          | 20.8          | 11.4          | 8.1           | 12.4          | 7.2           | 13.3          | 15.3          | 10.9          | 12.3          |
|                                      | 洗 濯 機          | 10.0 | 11.3 | －1.3         | 7.1           | 8.3           | 7.6           | 9.3           | 8.0           | 12.6          | 11.0          | 10.8          | 10.9          | 12.7          |
|                                      | パソコン・周辺機器      | 9.9  | 9.2  | 0.7          | 11.9          | 10.4          | 8.9           | 10.5          | 8.0           | 10.8          | 9.4           | 8.9           | 10.9          | 8.2           |
|                                      | 冷 蔵 庫          | 9.0  | 10.2 | －1.2         | 4.8           | 6.3           | 10.1          | 4.7           | 8.0           | 11.7          | 8.3           | 10.3          | 10.6          | 11.9          |
|                                      | テ レ ビ          | 8.6  | 7.9  | 0.7          | 7.1           | 6.3           | 3.8           | 8.1           | 4.4           | 7.2           | 8.8           | 5.9           | 12.0          | 10.2          |
|                                      | 太陽光発電・蓄電池      | 1.4  | 0.3  | 1.1          | 0.0           | 0.0           | 0.0           | 0.0           | 1.8           | 0.9           | 0.6           | 0.0           | 2.6           | 0.4           |
|                                      | DVD・ブルーレイレコーダー | 1.3  | 1.4  | －0.1         | 0.0           | 0.0           | 1.3           | 1.2           | 0.0           | 1.8           | 0.6           | 1.0           | 2.6           | 2.0           |
| 衣<br>料<br>品<br>・<br>サ<br>ー<br>ビ<br>ス | 国 内 旅 行        | 33.4 | 35.2 | －1.8         | 52.4          | 43.8          | 45.6          | 40.7          | 34.5          | 31.5          | 27.6          | 35.0          | 31.4          | 32.4          |
|                                      | 婦 人 物 衣 料      | 16.9 | 18.1 | －1.2         | 11.9          | 16.7          | 22.8          | 17.4          | 19.5          | 17.1          | 20.4          | 22.2          | 13.1          | 15.2          |
|                                      | 教育・自己啓発費       | 15.4 | 18.7 | －3.3         | 9.5           | 14.6          | 30.4          | 31.4          | 28.3          | 36.9          | 18.2          | 21.2          | 5.5           | 4.9           |
|                                      | 家具、インテリア用品     | 11.3 | 10.0 | 1.3          | 28.6          | 12.5          | 20.3          | 18.6          | 13.3          | 9.9           | 9.4           | 8.9           | 6.2           | 7.8           |
|                                      | 子 供 用 衣 料      | 10.6 | 11.9 | －1.3         | 9.5           | 12.5          | 32.9          | 39.5          | 25.7          | 22.5          | 5.0           | 6.9           | 1.8           | 1.6           |
|                                      | 海 外 旅 行        | 9.3  | 7.7  | 1.6          | 21.4          | 12.5          | 10.1          | 9.3           | 13.3          | 3.6           | 6.1           | 9.9           | 8.0           | 6.6           |
|                                      | 紳 士 物 衣 料      | 8.4  | 9.8  | －1.4         | 2.4           | 12.5          | 8.9           | 14.0          | 7.1           | 8.1           | 11.0          | 11.3          | 8.4           | 7.0           |
|                                      | 靴、ハンドバック       | 8.1  | 9.5  | －1.4         | 21.4          | 18.8          | 10.1          | 10.5          | 8.8           | 6.3           | 7.7           | 12.8          | 5.8           | 5.7           |
|                                      | スポーツ、レジャー用品    | 8.0  | 8.3  | －0.3         | 11.9          | 6.3           | 15.2          | 15.1          | 9.7           | 8.1           | 7.2           | 7.9           | 5.5           | 7.0           |

（注）合計および各年代において、■ 1番多い理由、■ 2番目に多い理由、■ 3番目に多い理由。

## 7. サービス・レジャー等に関する支出

<現在（2025年）>

1年前（2024年）と比べたサービス・レジャー等に関する支出DI（以下「サービス等支出DI」という）はすべての項目においてマイナスで、最も低いのは「二泊以上の旅行の費用（海外旅行含む）」（△29.1）、続いて「一泊旅行の費用」（△26.9）となった。

サービス等支出DIが前回と比べて上昇した支出は、「カルチャーセンター等の習い事の費用」（前年比+0.9ポイント）のみであった。低下した支出は、「外食費」（同△8.7ポイント）、「補助教育費」（同△7.5ポイント）、「日帰り旅行の費用」（同△7.4ポイント）などとなった（図表不掲載）。

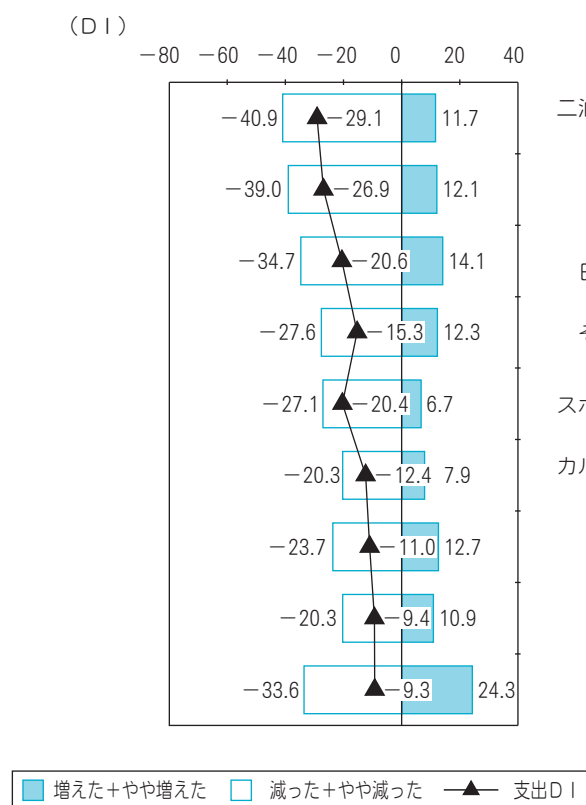
<今後1年間（2026年）>

今後1年間に、サービス・レジャー等の支出で増やそうと考えているもの（複数回答）は、「日帰り旅行の費用」（36.7%）が最も多く、「外食費」（35.4%）、「一泊旅行の費用」（33.6%）が続いた。

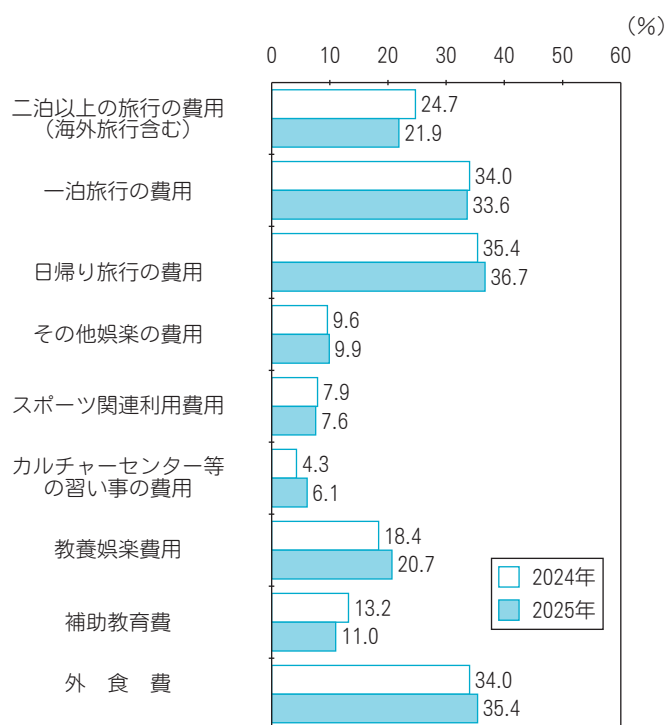
前回と比べると、「教養娯楽費用」（前年比+2.3ポイント）、「カルチャーセンター等の習い事の費用」（同+1.8ポイント）が上昇する一方、「二泊以上の旅行の費用（海外旅行含む）」（同△2.8ポイント）が低下するなど、高額な支出を敬遠する動きがみられる。

年代別にみると、60歳以上（35.8%）は外食費、他のすべての世代が「日帰り旅行」となった。（図表不掲載）。

1年前と比べた支出（n=700）



今後1年間に支出を増やそうと考えているもの（複数回答）（n=700）



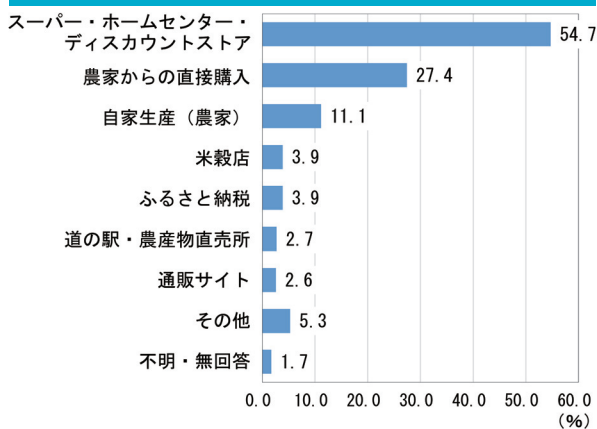


## 8. 主食用米（コメ）について

### （１）コメの購入先

普段食べるコメの購入先としては、「スーパー・ホームセンター・ディスカウントストア」（54.7%）が最も多く、「農家からの直接購入」（27.4%）、「自家生産（農家）」（11.1%）が続いた。

コメの購入先（複数回答）（n=700）

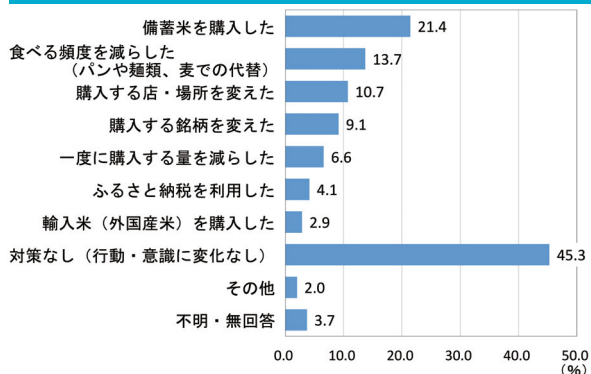


### （２）コメの価格高騰を受けた対策

令和のコメ騒動を受けた対策としては、「備蓄米を購入した」（21.4%）が最も多く、「食べる頻度を減らした（パンや麺類、麦での代替）」（13.7%）、「購入する店・場所を変えた」（10.7%）が続いた。

一方で、「対策なし（行動・意識に変化なし）」が45.3%となっており、半数近くの世帯では特段の対策を講じなかった。

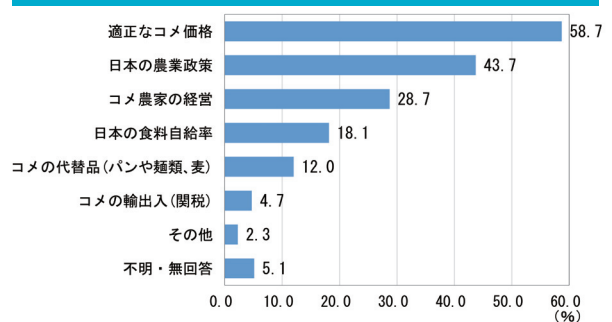
コメ価格高騰への対策（複数回答）（n=700）



### （３）令和のコメ騒動をきっかけに関心が深まった事項

令和のコメ騒動をきっかけに関心が深まった事項としては、「適正なコメ価格」（58.7%）が最も多く、「日本の農業政策」（43.7%）、「コメ農家の経営」（28.7%）が続いた。

令和のコメ騒動をきっかけに関心が深まった事項（複数回答）（n=700）

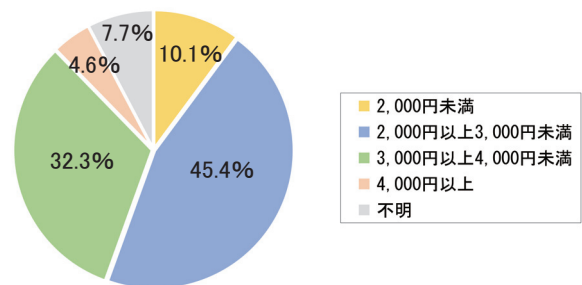


### （４）コメの適正価格

#### ①コメ 5 キロの適正価格

「2,000 円以上 3,000 円未満」が45.4%で最も多く、「3,000 円以上 4,000 円未満」が32.3%、「2,000 円未満」が10.1%、「4,000 円以上」が4.6%と続いた。また、「不明」が7.7%あった。

コメ 5 キロの適正価格（n=700）



#### ②自由回答

「現在の価格では家計を圧迫する」「コメは主食であり手頃な価格で購入したい」と安さを求める意見もあったが、「消費者としてはコメの価格は安い方が良いが、農家のことを考えると安ければ良いものではない」との趣旨の回答が多かった。

| コメ 5 キロの適正価格について（自由回答） |                              |
|------------------------|------------------------------|
| コメ 5 キロの適正価格           | 主な意見                         |
| 2,000 円未満              | 毎日食する品目であり、現在の価格では家計を圧迫する。   |
|                        | 農家からこの価格水準で直接購入している。         |
| 2,000 円以上 3,000 円未満    | 日々の主食はこの価格帯でなければ厳しい。         |
|                        | 中間事業者が要因となって価格が上がるのは理解できない。  |
|                        | 以前の価格を考えるとこの水準が妥当。           |
| 3,000 円以上 4,000 円未満    | 農家の経営を維持するためにもある程度の価格水準が必要。  |
|                        | 今までが安すぎた。                    |
|                        | この価格水準では少し高いが、農家に還元されるならば良い。 |
| 4,000 円以上              | 今回のコメ騒動で農家の大変さが良く分かった。       |
| 不明・無回答                 | 安い方が良いが、農家の収支を考えると軽々しく言えない。  |

（秋山利隆）

【調 査 要 領】

- （１）調査場所…… 次に掲げる奈良県内の南都銀行店舗 30 か店  
本店営業部、南、西大寺、西ノ京、平城、学園前、富雄、生駒、東生駒、郡山、筒井、天理、桜井、榛原、大淀、上市、高田、高田北、香芝、真美ヶ丘、新庄、御所、橿原、神宮前、王寺、西大和、平群、法隆寺、田原本、五条
- （２）調査日…… 2025 年 10 月初旬
- （３）調査方法…… 上記店頭において無記名で記入
- （４）調査対象者数 700 人    うち有効回答者数 700 人、有効回答率 100 %

| 調査対象者（世帯主）の属性 |           |            |             |             |             |            |              |
|---------------|-----------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|--------------|
| （上段：人、下段：％）   |           |            |             |             |             |            |              |
| 職 業           | 29歳以下     | 30代        | 40代         | 50代         | 60歳以上       | 年齢不明       | 全体           |
| 給与所得者         | 38<br>8.5 | 68<br>15.2 | 93<br>20.8  | 153<br>34.2 | 95<br>21.3  | 0<br>0.0   | 447<br>100.0 |
| 年金受給者         | 0<br>0.0  | 0<br>0.0   | 0<br>0.0    | 1<br>0.8    | 123<br>99.2 | 0<br>0.0   | 124<br>100.0 |
| 自 営 業 者       | 2<br>2.2  | 6<br>6.7   | 18<br>20.0  | 24<br>26.7  | 40<br>44.4  | 0<br>0.0   | 90<br>100.0  |
| そ の 他         | 2<br>8.7  | 2<br>8.7   | 1<br>4.3    | 3<br>13.0   | 15<br>65.2  | 0<br>0.0   | 23<br>100.0  |
| 不明・無回答        | 0<br>0.0  | 3<br>18.8  | 1<br>6.3    | 0<br>0.0    | 1<br>6.3    | 11<br>68.8 | 16<br>100.0  |
| 合 計           | 42<br>6.0 | 79<br>11.3 | 113<br>16.1 | 181<br>25.9 | 274<br>39.1 | 11<br>1.6  | 700<br>100.0 |

